

2020年度長野県支部年次大会資料及びアンケートに対するご意見・ご提言・ご質問等並びにご回答

長野県支部年次大会(2020年7月11日予定。中止)における資料及びオンライン方式によるCPD研修会のアンケートに対するご意見・ご提言・ご質問等を、会員の皆様から下記のとおりいただきました。

NO	日時	1.研修について	2.受講について	ご意見等
1	6月19日	実施するべき	参加する	
2	6月19日	実施するべき	すぐに参加する	新しい生活様式や日常のためには、このような対応も必要かと思えます。 また、移動に伴う時間の削減にも繋がると思えます。
3	6月19日	実施するべき	すぐに参加する	※秋～冬にかけてコロナウイルス感染が再度拡大する可能性は否定できないため、来年度の総会等も含めてオンラインで実施できる準備はしておいたほうがよいと思う。
4	6月19日	実施するべき	すぐに参加する	
5	6月19日			オンライン研修会についてですが、実施したほうが良いかと思えます。 因みに私の場合は、既に環境があります。
6	6月19日			オンライン方式の研修については、基本的に賛成です。 インターネット環境はほとんどの会員にあると思えます。 カメラ・マイクはパソコンについているものが多いです。 現地見学等は現地に行かなければならないので、オンライン方式は適しません。 百聞は一見にしかず というので、2回に1回は現地も必要と思えます。  ZOOMなどの設定方法はユーチューブで見ることができます。
7	6月19日	実施するべき	すぐに参加する	
8	6月19日	実施するべき	すぐに参加する	従来通り現地開催が出来ない間はオンラインで継続を。 時間都合が付く限り、参加準備は来ています。 私事ですが、昨年4月から下記(韓国)に赴任しておりオンラインは寧ろ大歓迎です。 どうぞ宜しくお願い致します。
9	6月19日	その他	すぐに参加する	オンラインは、実地見学が不可能ですのでなるべく現地でやってほしい。
10	6月20日	実施するべき	すぐに参加する	大変有効なツールとっており是非実現頂ければと思っております。
11	6月20日	実施するべき	すぐに参加する	オンラインのCPD研修は、自宅にいて受けられるので、受ける側としては、大変ありがたいと思えます。
12	6月21日	実施するべき	すぐに参加する	
13	6月22日	実施するべき	すぐに参加する	
14	6月22日	実施するべき	すぐに参加する	聴講形式であれば、オンライン方式の研修で十分役立ちます (むしろスライドが画面上でよく見えること、現地に赴くのが大変な場合でも受講できるメリットがあります)。 逆に、参加者が参加するワークがある形式だと難しいと思えます。 カメラはありませんが、その他の設備は一式揃っていますので、参加することが可能です。 窓口が違うかもしれませんが、 支部主催の見学会で「三遠南信自動車道 青崩峠道路工事 見学会」の開催を希望です。 青崩峠は、ちょうど中央構造線の上に位置することから地盤がもろく、トンネルの掘削が非常に困難な地と聞いています。  ただいま本坑工事が長野県側と静岡県側から進んでいるとのことなので、機会があればぜひ見学、お話を聞いてみたい次第です。
15	6月22日	実施するべき	すぐに参加する	
16	6月23日			状況に関わらずオンライン方式を一度試し、会員の反応をみることから始める。 なぜなら、いざ、感染が広がりオンラインしかできない状況になった時慌てて始めてもうまく行かないと思うから。(試行期間も必要と考えます) その後は感染の広がり状況、技術士会以外の研修開催状況、研修内容等を勘案し、オンライン方式や従来方式を使い分ければよいと思えます。 講習会の内容によっては、実際に見たり聞いたりする方が、技術の向上につながる場合もあると思えます。 ZOOMは入っていませんが、その他の環境は整っています。ZOOMになればすぐに参加可能と思われる。

17	6月23日			<p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策として密を避けることが重要と言われているので、当分の間、一堂に会しての会合は避けなければならない、技術士会としてもオンライン方式の会議や研修を行う必要があると思います。</p> <p>(2) 技術士としては、ZOOMなどのアプリの使用法に習熟することも、CPDの一環として必要なことと思います。顧客との打ち合わせについても、オンライン方式の打ち合わせ法に習熟していれば、技術士として有能であると期待させる効果もいると思います。</p> <p>(1) 自宅に光回線のインターネット回線に繋いだコンピュータを持っています。コンピュータにマイクやカメラを内蔵しているので、ZOOMなどのアプリを使用することは可能です。</p> <p>(2) ZOOMなどのアプリは1人で使用するものではないので、今のところ十分に習熟しているとは言えませんが、受身的に参加することはできると思います。技術士会のオンライン方式の会議や研修に参加することで、ZOOMなどのアプリの使用法に習熟することが期待されます。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症が終息した後も2回／年程度の頻度で実施し、次の類似の事態に備えて、ZOOMなどのアプリの使用法を忘れないようにするのが良いと思います。</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症対策として、1か月ほど自宅待機、在宅勤務をしました。この間、結果的に技術士会から重要な連絡がなかったため、特段の問題は生じませんでした。連絡先を臨時に会社の電子メールから自宅の電子メールに変更しておくべきだったかもしれません。事務局の負担が大きくなりますが、検討してください。</p>
18	6月23日	実施するべき	参加には時間がかかる	<p>Zoomクライアントは最初の研修参加時に自動的にダウンロードされるのでしょうか。</p> <p>参加者100名以上はダウンロードが有料となりますか？ ホストのみ有料ですか？</p> <p>若干の付加的情報をいただけますと大変助かりますが・・・。</p> <p>カメラ・マイクなしでも差し当たり講演会などに参加可能としますと、個々人の準備を待たずにまずはスタートすることができるのではないかと考えますが・・・。</p>
19	7月10日			<p>今回の大会は中止とのことですので、メールにて意見を述べさせていただきます。今後の議論に取り上げていただきたく、お願い申し上げます。</p> <p>内容は今後のCPD研修会のあり方についてです。CPD研修のオンライン開催の推進を強く要望します。</p> <p>コロナ禍により、ほとんどのCPD研修会が中止となりました。緊急事態宣言解除後も第二波への懸念から研修会の開催が躊躇される状況であり、集合形式でのCPD研修は開催も参加も困難が伴うものと思います。</p> <p>私の勤務先においても出張はもちろん出社を減らし在宅勤務を本格的に取り入れていく状況であります。オンラインでの会議・ミーティングが浸透し、抵抗感も薄れ、それが常態化しつつあります。この流れはコロナ禍以前からの働き方改革の流れからきたものですが今回のコロナ禍によって加速的に進行しました。</p> <p>市中のセミナーなどもオンラインで開催されています。</p> <p>このような情勢のなか、CPD研修をオンラインで開催することはもはや必須ではないでしょうか。</p> <p>長野県支部大会資料の7ページに記載の「⑦WEB方式によるCPD研修会」の項、県支部として今後進める上での課題として、東北信・中南信での出張形WEB研修・ネット環境整備についての言及があり、「個人型受信対応」は見通し不明との記述がございます。</p> <p>大会資料11ページの2020年度活動計画においては「オンライン環境による研修会などの施行」「本部各部会と協力してのWEB配信による研修会開催」が記載されております。</p> <p>詳細の記述がありませんが、「オンライン環境による研修会などの施行」以外はいずれも集合形式の研修会のWEB化を推進するものでしょうか。</p> <p>どこかの会場に集まってWEB配信の受信画面を見るのは、その場所へ時間をかけて赴くことができる人だけしか参加できません。長野県は広くて移動が大変ですし時間もかかります。</p>

			<p>どこかに集まるのはオンライン型式が浸透してきた今ではもはや時代遅れの気がします。</p> <p>WEB配信を受信する方向に力を入れてこうとするのであれば、この際一気にオンライン形式での開催に向けて進化させるべきと強く願います。</p> <p>集合形式の研修を否定するものではありませんし、現地見学も必須と考えていますが、オンラインには自宅や職場にしながら短時間に気軽に参加できるという大きなメリットがあります。各方式の利点を生かして使い分け併用していくべきと思います。</p> <p>中央が開催しているCPD講座で「CPDミニ講座」という毎回1.5～2時間程度で実施されている講座がありますが、新技術の解説や技術と社会情勢の関係などの非常に興味深いテーマでありぜひとも参加したいと思うものが多くあります。しかしながら、そのために東京へ何度も足を運ぶのは実質困難です。こういうミニ講座こそオンライン開催が非常に適していると思います。</p> <p>長野県支部のCPD講座でもミニ講座的なものを開催することも期待するところです。</p> <p>本部（東京）と地方のCPD機会の格差は以前から課題として認識されてきましたが、何年たっても一向に変わらない残念な状態が続いています。技術士は課題を解決するコンサルタントだったはずですが…。</p> <p>問題の解決策として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン方式CPD講座を推進し</li> <li>・オンライン方式を活用したミニ講座の開催などでCPD受講機会の拡大し</li> <li>・「個人形受信対応」の見通しを静観するのではなく、長野県支部として推進することを決議し、本部へ強力に要求する</li> <li>・無駄な備品（プロジェクター、スクリーンなど）の購入は控え、支部技術士会員に便益がわたるように予算を支出すべき（CPD参加料無料、zoomライセンス貸与、など）などをご検討いただき、2021年度の定時大会で進展状況をお伺いしたく存じます。</li> </ul> <p>技術士制度改革でも資格更新条件として一定のCPDが必須となるようですので、CPD機会の拡大は大いに期待するところです。</p> <p>オンライン方式であればICTリテラシーの高い若手技術士の参加率も上がり、活性化にも役立つものと思います。</p> <p>どうぞ宜しくお願い致します。</p>
--	--	--	--

**【ご回答】**

ご意見や実情、ご提案をお聞かせいただき、ありがとうございました。  
 いただいたご意見等につきましては、今後の活動に活かしてまいりたいと考えます。  
 オンライン方式によるCPD研修会につきましても、当支部（役員、事務局）のできる範囲で、必要に応じて進めてまいります。  
 今後ともどうぞよろしくお願い致します。  
 なお、一部のご質問、ご意見につきましては、個別にご回答させていただきました。

2020年7月27日

日本技術士会長野県支部  
 支部長 小口 雄平